

令和7年5月7日

# コミュニティ・スクール便り

板橋区立緑小学校 コミュニティ・スクール委員長 山口 正春  
校長 市之瀬 輝明



日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。5月1日（木）に、第1回コミュニティ・スクール委員会を行いました。コミュニティ・スクール委員会は、委員の皆様から多面的に学校の教育活動にご協力していただき、緑小学校の教育活動をより充実したものにしていけるための会です。委員会実施後には、「コミュニティ・スクール便り」を発行してまいります。保護者、地域の皆様にもご覧いただき、引き続き、ご理解、ご協力いただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 令和7年度 コミュニティ・スクール委員会委員

|          |                        |
|----------|------------------------|
| 山口 正春 様  | (SC管理組合顧問)             |
| 八田 靖史 様  | (PTA会長)                |
| 山田 貴之 様  | (前PTA会長)               |
| 倉成 一郎 様  | (SC管理組合理事長)            |
| 富岡 総一郎 様 | (民生児童委員・地域コーディネーター)    |
| 榎本 友美子 様 | (青少年健全育成委員・地域コーディネーター) |
| 富永 悠 様   | (学校支援ボランティア)           |
| 加藤 昌裕 様  | (学校支援ボランティア)           |
| 秦 憂佳 様   | (あいキッズ責任者)             |

### ○次第

- ・委員の自己紹介
- ・学校経営方針・学校経営計画
- ・年間行事予定
- ・今年度支援活動の計画
- ・意見交換



## ○主な意見

- ・「こころ」を大切にする緑小として、年間を通して「すすんであいさつをする」ことを徹底していきたい。あいさつ当番として、登校時に校門、東門であいさつをしている。校内でのあいさつも、自分からすすんで気持ちのよいあいさつが広がってきている。今後も続けたい。
- ・地域でもよくあいさつをしている。
- ・校内研究では、本校の緑豊かな環境を生かし、ESDおよびSDGsの視点を踏まえた自然体験活動を軸にした環境教育を地域の人材ボランティアを活用し、協働・対話による「課題発見・解決学習」をすすめ、持続可能な社会の担い手を育成したい。
- ・たけのこほりでは、4年生とサンシティグリーンボランティアの方たちで、たくさんのたけのこを掘ることができた。「緑小の4年生になるとたけのこほりができる」と、子どもたちもはりきっていた。
- ・iCSや学校支援地域本部の協力もあって、ビオトープや第2ビオトープ、コンポストでの活動もできている。本当にありがたい。
- ・ビオトープで生物についてあれやこれや話しながら観察する「ビオトーク」は今年も行う。子どもたちに声を掛けて、継続していきたい。
- ・コンポストの活動が始まっている。場所は、貯水槽の横。給食の調理で出た野菜のくずを利用している。今後どうなっていくのか楽しみ。
- ・ボランティアの活動として、放課後パワーアップ教室や読み聞かせ、新規活動で教員の学習補助がある。学習補助ボランティアを呼び掛けたところ、約30名の方が登録してくださった。早速、1年生の下校指導補助、家庭科の調理実習補助を行い、教員も参加したボランティアの方も大変よかったと感想が出ている。もちろん子どもからも感謝の気持ちを表す言葉が出ていたり、大変喜んでいる姿も見られたりした。ボランティアの募集は引き続き行い、教員からの依頼もメールを使って、依頼しやすくしている。新たななかかわりが生まれている。
- ・あいキッズの登録も多く、1年生もたくさん利用している。元気に過ごしている。



次回は6月18日(水)14:30~を予定しています。